

| | | | | | | | | |
|-----|-------------|-----|------------|------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 日中比較社会論特殊研究 | 担当者 | タカツナ 高綱 | ヒロフミ 博文 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|-------------|-----|------------|------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

| | | | |
|--------------|---|------|---|
| 目的 | <p>本講義では、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ—豊かな知識・教養に基づく高い倫理観・世界の現状を理解し、説明する力」、 「自ら考える—論理的・批判的思考力、問題発見・解決能力」及び「自ら道をひらく—挑戦力、コミュニケーション力、リーダーシップ・協力力、省察力」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成することを目的とする。</p> | | |
| 到達目標 | <p>【一般目標（GIO）】 本講義は、基本教材として内山完造『花甲録』及びホワイトニング『中国人の日本観』を取り上げ、日中関係史を歴史的に理解し、歴史学による実証的且つ批判的な研究方法論を学修する。 【行動目標（SBOs）】 日中関係の歴史について現代的な視点から考察し、日中関係の新たな未来を創造することのできる人材を育成する。 【準備学修項目と準備学修時間】 現代中国や上海に関する映像などを多く視聴し、今後の日本が中国といかに向き合うかについて考える。 準備学修時間：3時間</p> | | |
| 学修方略 (方法) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 高綱ゼミ及び日本上海史研究会（代表：高綱）への参加を促し、中国に関係するさまざまな方々とのグループディスカッションの機会を設ける。 【学修方略（LS）】 基本的に教材による講義及びレポートの作成指導による。</p> | | |
| スケジュール | <p>前期：基本教材の内山完造『花甲録』を学修し、前期レポート課題については9月の締切期日までに提出する。 後期：基本教材のホワイトニング『中国人の日本観』学修し、後期レポート課題については1月の締切期日までに提出する。</p> | | |
| 成績評価 | 種別 | 割合 | 評価基準 |
| | レポート | 100% | 教材理解度 20%，論旨の一貫性 20%，要約力 20%，表現力 20%，解釈の妥当性 20% |
| | 平常評価 | % | |
| 履修者への要望 | <p>教材を学修してレポートを作成する際には、学術論文を作成するトレーニングであるとの自覚に基づき社会科学の方法論を積極的に学修しようとする熱意を持つことを要望する。</p> | | |

【レポート課題】

| 基本教材 1 | |
|----------|---|
| 教材の概要 | 著者名：内山完造 教材名：『花甲録』（平凡社, 2011 年）ISBN:978-4-58-280807-0 3,300 円+税 |
| | 本書は戦前の上海において内山書店を経営し、また日中友好と日中文化交流のかけ橋の役割を果たした内山完造の自伝であり、そして本書は上海日本人居留民社会史の最良のテキストである。 |
| 参考図書 | 高綱博文『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版, 2009 年）ISBN:978-4-87-636297-4 6,500 円+税 |
| 履修上のポイント | 内山完造の自伝『花甲録』を、異文化社会としての中国社会と格闘した一人の日本人商人の記録として読むことができる。即ち、彼がどのように中国社会への理解を深め、多くの中国人の信頼を勝ち得て、中国でのビジネスに成功したのかについてテキストから読みとっていただきたい。 |
| レポート課題 1 | 内山完造の中国社会認識とその変化について論述しなさい。 留意点：『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。 |
| レポート課題 2 | 内山完造が上海で書店経営に成功した要因について考察しなさい。 留意点：『花甲録』を精読して先行研究とは異なる独自の論点を提示すること。 |

| 基本教材 2 | |
|----------|--|
| 教材の概要 | 著者名：アレン S. ホワイティング 教材名：『中国人の日本観』（岩波書店, 2000 年） ISBN:978-4-00-600013-4 1,365 円+税 |
| | 本書はアメリカの中国研究の碩学であるホワイティングが日中両国の多くの人々との対話を通して、中国人の日本観とそれを規定する思考様式を分析したものである。 |
| 参考図書 | 毛里和子『日中関係』（岩波書店, 2006 年）ISBN:978-4-00-431021-1 800 円+税 入江昭『日中関係 この百年』（岩波書店, 1995 年）ISBN:978-4-00-001712-1 2,330 円+税 |
| 履修上のポイント | 本書の特徴は、日中関係を第三者の目で分析したことにある。そして、中国における広範なインタビュー及び文献調査によって中国人の日本認識をできるかぎり明確にしようとしている。第三者から見た中国人の日本イメージを批判的に検討することを通じて、各自の日中関係への視座を構築することに努めること。 |
| レポート課題 1 | テキストに描かれた中国人の日本イメージを要約し、そのイメージの形成要因について考察すること。 留意点：ホワイティングが提示している論点を日本人の眼から検証すること。 |
| レポート課題 2 | テキストの分析を踏まえて日中関係が「歴史の負の遺産」から脱却する途について考察すること。 留意点：現実の緊張する日中関係を踏まえて考察すること。 |